

2014年(平成26年)  
12/20(土)  
Saturday

# 熊本日日新聞

kumanichi.com

夕刊

熊本日日新聞社  
〒860-8506  
熊本市中心区世安町172  
代表 (096) 361-3111

くまにち **タウンパケット**

お申し込みは専用  
パソコンから！  
http://packet.kumanichi.com

※一部携帯電話からはお申し込みできません。  
広告会社、曜日配達(安社、総支店、販売店)の窓口でもお申し込みできます。  
お問い合わせは  
くまにち  
タウンパケット TEL.096-361-3354  
E-mail: info@packet.kumanichi.com

### の天気

福岡  
10  
1~7℃

佐賀

長崎

大分

宮崎

鹿児島

那覇

大阪

東京

札幌

のち  
一時、時々  
6時~12時  
降水確率

来週は寒さ緩む

伝大会  
(スタート)  
のコー  
9市町村  
した。1

市西京極

ぶりの入  
院と5年  
、21.0975

体育館)

ら。男女  
のルネサ  
ミ運輸一

談

諫早湾干拓の開門期限  
から1年。訴訟合戦で  
国の「罰金」膨らむは  
かり。見直しは



見物客が見守る中、馬上から矢を放つ  
「武田流流鏑馬保存会」の竹原浩太さん  
=10月、熊本市中心区の出水神社

## 楽しみながら歴史つなぐ

武田流流鏑馬保存会理事長 竹原 浩太さん(42)

武田流流鏑馬は1100年の歴史を持ち、竹原家が細川幽斎の時代から代々「宗家師範」として技を伝えてきた。父は第47代師範。

「重臣があり、高校・大学時代は反発もした。大阪で過ごした大学時代はアイスホッケーにのめり込み、このまま都会で暮らしたいという思いもあった」。父は決して「継げ」とは言わなかった。しかしそれでも熊本に帰ってきた。

いまだに力を入れているのが若手後継者の育成。道場には月2回「やぶさめ少年塾」に名を連ねる。

たけはら・こうた 1972年、熊本市出身。武田流騎射流鏑馬の「師範代」とともに、広告代理店の営業マン。好きな言葉は「精進」。中学時代の同級生の妻(42)との間に2男2女。「趣味は子育て」で、家事も率先してこなしているという。「やぶさめ少年塾を教える時間が楽しい」と話す子ども好き。同市在住。

### こんな人

保存会は毎年春と秋、出水神社の例大祭で流鏑馬を奉納するほか、熊本城で開かれる「お城まつり」などで演武を披露する。

1971年に設立された保存会は団体として重要無形文化財の指定を受けている。時代の流れに合わせて女性の射手を認めるなど、裾野の拡大にも努めており、現在は社会人や学生ら30人が活動している。

天下泰平・万民息災・五穀豊穡を祈って奉納される流鏑馬。その魅力について「日本人の心が凝縮された武道。馬に乗っているときは無心になれる」と語る。一方で「生きさま」とも表現する。

家道で、一種のプロ。しかし仕事ではないからだ。竹原家には「流鏑馬を生業にしてはならない」というおきてがあり、竹原さんは会社員という顔も併せ持つ。

「仕事としてはならないのは武道の精神を貫くため。商売にしたら欲が出て、自分を見失ってしまうでしょうから」。40歳を過ぎて新たな立場に身を置き、「今やって流鏑馬というものが分かり始めた」と竹原さん。「自分なんて長い歴史からみたら、一つの通過点と強調する。次代に新たな矢を放つため、今まさに走り出しただけだ」。



「やぶさめ少年塾」で指導する竹原浩太さん(右)  
=熊本市中心区の出水神社

### 記者ひとこと

竹原さんは同級生で小学生の時から面識があった。いつごろから伝統文化の継承者として自覚するようになったか尋ねると、「当時から」と答えられて驚いた。「明るく元気なサッカー少年」という印象で、伝統を背負う「気配」をみじんも感じさせなかったからだ。取材では流鏑馬の精神について語った後、サービスピッチで「流鏑馬48代目だからYBS48」と笑わせた。プレッシャーはあるに違いないけれど、自然体で熊本の伝統文化を守ってほしい。(平井智子)

今回は、障害児や不登校の児童らの支援に取り組むNPO法人NEXT EP理事長、島津智之さんです。

# 元蔵の三年三十台 の冬ギフト

